キャリア教育プログラムと連動させた活用

職場体験や職業インタビュー等のキャリア教育のプログラムと連動させてVRTをセットで行うことにより、活動の取り組みがより充実し効果を高めることが期待できます。

職場体験学習

2年生のキャリア教育で職場体験学習がありますが、VRTはその事前学習として総合学習の時間に実施します。

職場体験先を選ぶにあたって、まずVRTを受け、そしてどういう職業に興味があるかアンケートを取った結果

町田市立
木曽中学校

細井 千恵 先生

町田市立木曽中学校 教諭
(第2学年)

「職業観」についての話を、2時間目に基づいて、その職業の方の仕事の姿を描いたDVDを視聴します。

やはり生徒たちは職業をあまり多くは知らないもので、VRTをきっかけにこんなにとくさんの職業が世の中にはあるんだと知ってほしい。また、自分はこのことが好きだったんだなと客観的に自己分析するスタートライン、第一歩になればと思います、実施しました。

これで将来が確定するわけでもないし、あくまでも現時点で自分が興味のあること、自信があることをまず自己確認できればいいというもので、点数が高ければいいようなものではない、という話はしています。

生徒にはVRTの目的を話している

ので、真剣に受けています。当日欠席して別の日の昼休みに後からやってもらった生徒もいました。昼休みが潰れることを非常に嫌がる子ですが、きちんと最後までやって出していましたね。自分の将来のことを考える上で大事な一歩だよと伝えているので、わかっているのではないのでしょうか。VRTの解説もしっかり聞いていました。

今回は、職場体験がコロナ禍で中止になってしまったために、実施の意義が少しはやけてしまったかもしれませんが、正直残念な部分もありました。かなり準備も進んでいた中で中止が決まったので、生徒もがっかりしていましたね。また職場体験とVRTが実施できることを待ちたいと思います。

職業インタビュー

川崎市立
金程中学校

尾形 裕子 先生

川崎市立金程中学校 教諭
(第3学年(昨年度第2学年))

2年生のキャリア教育プログラムの中で、1月に「職業インタビュー」を計画していました。インタビューを行う前に自分の特性や向いている仕事への理解を深めてもらいたいと思い、10月にVRTを実施しました。総合的な学習の時間を3コマ使い、1時間目は「職業観」についての話を、2時間目

はVRTの実施を、そして3時間目は採点と「結果の見方・生かし方」を使用したワークを行いました。

生徒たちは結果を楽しそうに見せ合いつながり、お互いに感想を述べていました。自発的にそうだったので、中には興味が多角的に低い結果となったたり、WORK3で自分が興味を持つ職業が見つからないなど、少し残念に感じているような生徒もいたので、「点数が高ければいいわけではない」「これから職業を知っていくためのきっかけにしよう」などの助言をしたほうがよかったのかもしれないという気がします。

今回の結果は今の段階での結果であり、今後変わっていく可能性があること

とはしっかり伝えていきます。また中学生の段階なので、具体的な職業に落とし込んで考えるというよりは自身の特性を知ることの重きを置くようにしています。

VRTの結果は保護者とも共有しています。授業で記載したワークシート「結果の見方・生かし方」をいったん生徒から集めて、学期末の三者面談の際に返します。保護者も結果に関心をお持ちでした。

職業インタビューは、コロナ禍で中止となってしまいましたが、生徒自身が自分の興味のあること・ないことについて理解する手がかりになったと思うので、VRTを実施して良かったと感じています。